

# 新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 Tel. 0569-26-4888 <http://www.nankichi.gr.jp>

## 感染症対策のもと、三か月ぶりの再開へ

### 新

型コロナウィルスの影響により各地でイベントの中止や施設の閉鎖が相次ぐ中、新美南吉記念館も三月四日(水)～六月一日(月)にかけて臨時休館しました。貝殻忌やGWのイベント、恒例の蛸まつりなどもすべて中止となり、しばらくは寂しい日々が続きました。

休館の間、記念館では新しくSNSを生かした取り組みを始めました。コロナの影響で元気を無くされている方を励ますために、南吉の詩「明日」を朗読して動画を投稿してもらおうという企画です(詳細は三頁へ)。ありがたいことにたくさんの方にご参加いただき、辛い時こそ文学の力が生きてくるのだと感じました。

当面の間、記念館は左記の対策のもと開館します。ご迷惑をおかけしますが、よろしく願います。

今後、状況により対応を変更する場合は記念館HPにてお知らせします。

\*

○玄関の消毒液で手指を消毒のうえ、ご入館ください。

○入館時にお名前やご住所、健康状態などをお尋ねする入館者カードをご記入ください。

○マスクを着用されている方(幼児を除く)は入館できません。

○長時間(九十分以上)の滞在はご遠慮ください。

○館内の混雑状況(概ね百五十名)によっては入館をお待ちいただく場合がございます。

○団体での見学には制限があります。詳しくは記念館HPをご覧ください。

○当面の間、館内のカフェ&ショップ「ごん」の贈り物は営業時間を短縮し、物販のみの営業とします。

### 館長就任の挨拶

遠山光嗣

四月から第六代新美南吉記念館長を拝命いたしました。

今年は「ごんぎつね」が全社の教科書に採用されるようになってちょうど四十年です。一方でこの春からの新教科書では、「手ぶくろを買いに」と「あめ玉」が姿を消しています。「ごんぎつね」ばかりが圧倒的に読まれる現状を打破し、多様な南吉の作品と作家自身の魅力を伝えていくことが、今後ますます重要になります。

同時に、新型コロナウイルスの流行で困難な状況にある今、命の尊さや美しさ、互いに支え合う大切さを表現した南吉文学の価値を発信していくことも大切な使命と考えています。

新美南吉を扱う唯一の文学館として、その役割を果たすため、職員と共に取り組んで参ります。

▶ 感染症対策中のエントランスホール



# 令和二年・夏の展示紹介

今年は新型コロナウイルスの影響で、春の開催予定だった「原口侑千・ごんのかわら版4コマ漫画展」を夏へ延期しました。開催中のミニ展示と合わせて、その内容を「紹介」します。

みなさんは新聞を読むとき、まずどこから目を通すでしょう。ニュース、経済、株、スポーツ……いろいろありますが、4コマ漫画があれば真っ先に見る、という方も多いのではないのでしょうか。

今回記念館では、「ごんぎつねの会」の機関誌『ごんのかわら版』にて平成十三年から二十六年にかけて連載された、原口侑千さんの4コマ漫画を展示します。

す。原口さんは地元・岩滑の生まれで、幼い頃は南吉も歩いた道が舗装もされずに残り、往來を牛がのんびりと往く姿も見られたそうです。そんな原口さんが送るユーモアあふれる4コマ漫画の世界を、新型コロナウイルスで大変な今だからこそ、ご家族やご友人と一緒に笑いながらお楽しみください。

展示では、計五十三本の連載作品の中から二十本を

選び、原画とともにご紹介いたします。「ごんぎつねの会」についての解説や、原口先生へのインタビューなどをご覧いただけるほか、エンタランスで等身大パネルと一緒に記念撮影ができますので、記念館の思い出にいかがでしょうか。

会期は七月四日(土)から九月十三日(日)まで。館内のミュージアムショップにてオリジナルグッズの販売もいたします。

\*

記念館エントランスホールでは、八月三十日(日)まで「ベラルーシの子どものたちの南吉感想画展」を開催中です。東ヨーロッパにあるベラルーシ共和国からとどいた、現地の子どもたちが描いた十六枚の読書感想画を、ベラルーシについて紹介するパネルとともに展示しています。4コマ漫画展と合わせて、ぜひご覧ください。

## 記念館からのお知らせ

「南吉さんの日」お祝いメッセージ&イラスト募集

7月30日は南吉の107回目の誕生日です。例年生誕祭を開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お祝いメッセージとイラストを募集します。ご応募いただいたメッセージとイラストは館内に掲示するほか、イラストを新美南吉顕彰会へ選考し、3名様に記念品をお贈りします。

募集期間 7月末日まで  
 掲示期間 7月23日(祝・木)～8月2日(日)

応募方法 ツイッターでハッシュタグ「#南吉さんおめでとう」をつけて投稿するか、郵便またはEメールで記念館までお送りください。

※7月30日は記念館を無料開放します

原口侑千・ごんのかわら版4コマ漫画展

会期 7月4日(土)～

9月13日(日)

※詳細は上段記事へ

原口さんに似顔絵を描いてもらおう!

原口さんが来館し、似顔絵を描いてくださいます。



日時 8月13日(木)、14日(金)、16日(日)

午前の部 10時～12時  
 午後の部 13時30分～15時30分

場所 記念館工作室

※各回開始40分前から整理券を配布(無料・各10名程)  
 ※参加者全員に検温のうえ健康状態の確認をします

### 童話創作講座

童話の書き方についての講座です。自作童話の講評を受けることができ、その作品を新美南吉童話賞に応募することができます。

日時 ①7月26日(日) 10時～12時  
 ②8月23日(日) 10時～13時

場所 アイプラザ半田・第一会議室（半田市東洋町1丁目（8））

対象 中学生以上

定員 15名（先着順）

講師 高橋一元氏（東海学園大学人文学部教授）

受講料 1000円（2回分）

申込み 現在受付中

以上の事業は新型コロナウイルスの動向で全て変更になる場合がございます。問合せ・申込みは新美南吉記念館まで。

Tel 0569（26）4888

## 日誌抄・

### 二月（如月）

▼8日 「ペーパークラフト教室」。20名参加▼15日 ガイドボランティア例会▼22日 第31回新美南吉児童話賞表彰式開催▼23日 新美南吉文学講座「新美南吉は何故故郷を舞台に児童文学を書いたのか？」。33名参加▼同日 第174回新美南吉読書会。12名参加▼29日 新美南吉文学講座（前回と同内容）。28名参加

### 三月（弥生）

▼4日 新型コロナウイルス

ス感染拡大防止のため臨時休館（6月1日）

### 四月（卯月）

▼21日 「さらさらサラダ」（NHK名古屋放送局）で榊原澄香さんが登場し、南吉童話のペーパークラフトを紹介

### 五月（皐月）

▼5日、6日 東京新聞で「ごんぎつね」の全文が2回にわけて掲載される▼16日 9冊の南吉童話絵本（鈴木靖将・絵／新樹社）をアナウンサーが朗読する「新美南吉 絵本のおくりもの」（NHK名古屋放送局・全6回）初回放送▼17日 記念館公式ツイッターアカウントを開設▼同日 参加企画「みんなで『明日』をとどけよう！」スタート▼21日 中日新聞が、新美南吉児童話賞の審査員で児童文学作家・山本悦子さんへのインタビューを掲載

### （7月の休館日）

6日（月）、13日（月）、

14日（火）、20日（月）、

27日（月）

### （8月の休館日）

3日（月）、17日（月）、

24日（月）、31日（月）



みなさんは新美南吉の「明日」という詩を知っていますか？ 未来への希望に満ちた、とても明るい詩です。新型コロナウイルスの流行で先行きが見えず、不安を抱え、元気を無くされている方が多い今、この「明日」を朗読してTwitterで発信してみませんか。

朗読にあなたらしいメッセージやパフォーマンスを添えたら、ハッシュタグ「#明日をとどける」をつけてツイートしてください。

あなたの声で、みんなに“明日”をとどけましょう！



イラスト：山本正子

○映像でなく音声だけのものや、ご自身が作曲して歌うのもOKです（既存の曲は無断使用禁止）。

○作者が新美南吉だと分かるよう名前を読み上げるか、投稿欄に書いてください。

○記念館の公式ツイッターでは寄せられた「#明日をとどける」の動画をご紹介します。

明日  
あした

新美南吉

はなぞの  
花園  
みたいにまっている。

まつり  
祭  
みたいにまっている。

あした  
明日  
がみんなをまっている。

くさ  
草の  
芽、

あめ  
あめ牛、  
てんと虫。

明日  
はみんなをまっている。

明日  
はさなぎが蝶になる。

明日  
はつばみが花になる。

明日  
は卵がひなになる。

明日  
はみんなをまっている。

いずみ  
泉の  
ようにわいている。

らんぷ  
らんぷの  
ように点つてる。

今年も9月15日（火）まで創作童話の募集をしています。皆様からのご応募をお待ちしています。

## 【募集部門】

| 部 門         |                 | 様 式       | 枚 数  |
|-------------|-----------------|-----------|------|
| 自由創作部門      | 一般の部（高校生以上）     | 400字詰原稿用紙 | 7枚以内 |
|             | 中学生の部           | //        | 5枚以内 |
|             | 小学生高学年の部（4年生以上） | //        | 5枚以内 |
|             | 小学生低学年の部        | //        | 3枚以内 |
| 新美南吉オマージュ部門 | 小学生～一般          | //        | 7枚以内 |

## 【応募規定】

- 日本語で書かれた童話を創作してください。自作未発表で、同時に他の創作童話賞へ応募していないものに限りです。※自由創作部門と新美南吉オマージュ部門それぞれに別作品を応募、受賞することもできます。
- 原稿は必ず縦書きで、濃い筆記用具を使用してください。（パソコンの場合は1枚20行×20字で印刷）※原稿用紙には、題名（欄外でも可）と本文のみ書いてください。
- 応募票または、部門名（オマージュ部門の場合は選んだ作品名も）、題名、郵便番号、住所、氏名（学生の場合は保護者名も）、年齢（学生の場合は学校名・学年も）、性別、電話番号（携帯電話でも可）を記載したA4判の紙を1作品につき1枚添えてください。※応募票は南吉記念館のHPからダウンロードもできます。
- 応募作品の返却はいたしません。入選作品の著作権は半田市教育委員会に帰属するものとします。

## 自由創作部門

テーマは自由です。  
上記の応募規定をよく確認  
のうえ、ご応募  
ください。



## 新美南吉オマージュ部門

オマージュとは「尊敬・敬意・賞賛」という意味のフランス語です。この部門は、新美南吉の作品に通じるテーマで、新たな童話を創作するというものです。対象作品は新美南吉が書いた童話・小説・戯曲から1作品を選び、単なる物語の続きやパロディではなく作品から感じたことをテーマに、新しい童話を創作してください。

※対象作品の作中人物を登場させる必要はありません。時代、舞台、動物と人間という関係や登場人物同士の関係など、原作にとらわれず自由に設定してください。参考にホームページで南吉作品6編を掲載しています。

## 【応募期間】 令和2年6月1日（月）～9月15日（火）

※当日の消印有効。海外から発送したものは当日必着。

【賞 金】 最優秀賞…1編 賞金50万円 ※両部門を対象に選考します。オマージュ部門より最優秀賞を受賞した場合、ダブル受賞となりますが賞金の重複はありません（最大賞金額50万円）。自由創作部門／優秀賞…一般の部2編 賞金5万円、その他の部各1編 賞品3万円 ほか 新美南吉オマージュ部門／大賞1編 賞金10万円、優秀賞1編 賞金5万円 ほか

## 【発 表】 令和2年11月下旬予定（入選者のみに連絡）

※HPでは、受賞者と併せて一次審査通過者も氏名または筆名と都道府県を発表します。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、発表および表彰式の日程、形式が変更となり得ます。

## 【応募／問合せ先】 新美南吉記念館 新美南吉童話賞係

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1

☎0569-26-4888 <http://www.nankichi.gr.jp>

- 審査員 藤田のぼる（児童文学評論家）、酒井晶代（児童文学研究者）、富安陽子（児童文学作家）、山本悦子（児童文学作家）、知多管内小中学校教諭 ほか

主 催 半田市教育委員会

共 催 新美南吉顕彰会、公益社団法人半田青年会議所

後 援 文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、安城市教育委員会、中日新聞社

協 賛 ミツカングループ、知多信用金庫、半田信用金庫

おうちで書いて  
郵送してね！

